

功 績 調 書

なかむら とらじ にしかわ せいこ
中村 虎治（本名 西川 セイ子）

同人は昭和18年3月19日に青森県青森市に生まれ、昭和22年に4歳で中村流古典舞踊に入門。昭和40年3月に明治学院大学英文科卒業後、同年9月にアメリカ合衆国ミシガン大学ELIに入学し、昭和41年9月に同大学を卒業した。

卒業後、昭和48年に中村流「ともせ会」を結成。平成9年に「松鶴会」と改称し、12月には300余年の長い歴史をもつ中村流の十世家元七代目「中村虎治」を襲名した。

門弟の指導にあたる一方、華扇会（各流派の宗家、家元、幹部のみが出演できる日本舞踊会の権威ある会）や、女性舞踊家にとって最高峰の大会と言われる「女流名家舞踊大会」などに複数回出演するなど、今日まで県内外において舞踊公演活動を精力的に行っているほか、次世代につながる子どもたちの教育・指導にも熱心に力を注いでいる。

全国的規模の著名な舞踊会への参加と活動を続ける一方、出身地である青森県内でも、長きにわたって日本舞踊の普及と後進の育成に大きな功績を残している。昭和62年に公益社団法人日本舞踊協会青森県支部へ入会し、同支部の副支部長や支部長を歴任し、令和2年からは相談役として現在も同支部の要職を務めている。

これらの功績により、平成9年2月に青森市顕彰（教育文化彰）、平成18年10月に青森市表彰（芸術文化振興）、平成24年5月に青森県芸術文化振興功労章、同年11月に青森県文化賞、平成28年11月に青森県褒賞、令和元年11月に地域文化功労者文部科学大臣表彰を受賞した。

（中村虎治氏の公益社団法人日本舞踊協会青森県支部経歴）

昭和62年4月 入会
平成 8年4月 委員（平成9年3月まで）
平成 9年4月 副支部長（平成18年3月まで）
平成18年4月 支部長（平成22年3月まで）
平成24年4月 支部長（令和2年3月まで）
令和 2年4月 相談役（現在）